

# 事後評価 計画名称

2 歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）  
 2-1 歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）（防災・安全）

## 【事業主体】

熊本県、荒尾市、玉名市、菊池市、阿蘇市、和水町、長洲町、南小国町、小国町、産山村、高森町、山都町、玉東町、南関町



## 計画の目標・計画期間

歴史的価値が極めて高い国指定史跡・鞠智城、日本最大の装飾古墳群、世界最大級のカルデラを誇る阿蘇山など、多くの史跡や雄大な自然を抱える県北地域において、文化と歴史の薫り高い観光地の形成とともに、回遊性のあるルートづくりを通じて、国内外からの観光客を誘致を図る「歴史回廊くまもと観光立県」を推進する。

[平成21年度～平成25年度（5箇年）] 【H25.3.31廃止】

H21	H22	H23	H24	H25
2 歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）				廃止
2-1 歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）（防災・安全）				廃止

道路利用者

バイパスを“約3km”整備し、道路利用者の利便性が向上

現道拡幅を“約15km”整備し、車両のスムーズな通行を確保

## 要素事業の進捗状況

### 2 歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考	
				完了	継続		
A: 基幹事業	県	道路改築	12	12	7	5	バイパス、道路拡幅
	市町村	道路改築	47	47	26	21	バイパス、道路拡幅等
C: 効果促進事業	県	調査	1	0	0	0	交通実態調査
	市町村	調査、植栽等	13	8	6	2	道の駅整備計画策定等

### 2-1 歴史回廊くまもと観光立県の推進（県北地域）（防災・安全）

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考	
				完了	継続		
A: 基幹事業	県	道路改築	1	1	0	1	バイパス
	市町村	道路改築	2	2	0	2	現道拡幅

## 目標達成状況

指標	定義及び算定式	達成状況	当初現況値	最終値
			(H21当初)	(H25末)
①	計画の成果目標	県北地域の回遊性のあるルートにおいて、快適に走行できる道路の割合（快適道路率（%））を68.2%（H21）から71.9%（H25）に向上。		
	定義及び算定式	県北地域の交通実態調査により、回遊性のあるルートにおいて、快適に走行できる道路の割合（快適道路率（%））を算出する。 $\text{道路快適率（\%）} = \frac{\sum (\text{改良済延長} \times \text{交通量})}{\sum (\text{整備区間延長} \times \text{交通量})} \times 100$		
	達成状況	バイパス整備については、県道菊池鹿北線（田中工区）の整備を完了し、現道拡幅については、県道玉名八女線（中和仁）ほか5箇所の整備を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、県北地域の回遊性のあるルートにおいて、快適に走行できる道路の割合向上の目標を達成できなかった。	目標値 68.2%	実績値 68.9%
②	計画の成果目標	県北地域の通学路において、快適で安心して歩ける円滑な歩行空間の割合（快適歩行空間率（%））を41.4%（H21）から45.3%（H25）に向上。		
	定義及び算定式	通学路総延長に対する、道路（歩行）空間の整備延長の改善効果を算出する。 $\text{快適な道路空間の整備率（\%）} = \frac{\sum (\text{整備延長})}{\sum (\text{通学路延長})}$		
	達成状況	バイパス整備の県道と仁山鹿線（平小城工区）については、整備を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、県北地域の通学路において、快適で安心して歩ける円滑な歩行空間の割合向上の目標を達成できなかった。	目標値 41.4%	実績値 43.2%



## 今後の方針

九州中央自動車道IC74eS道路の県道稲生野甲佐線（北中島工区）や現道拡幅事業の国道325号・菊池拡幅などの早期整備効果発現のため、H25年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。